

# カワイ ドリマトーン グレードテスト 課題の捉え方・課題例

併せて、『カワイグレードテスト受験のために[課題例集]ポピュラーピアノ・ドリマトーン篇』(カワイ出版)をご参照ください。

## 【演奏グレード】

### ●課題曲<6級・5級・4級・3級・2級>

ポリフォニックな動きを表現するところのオルガンとしての表現力を問う。

### ●自由曲<6級・5級・4級・3級>

受験者の意志による選曲により、得意とする領域で個性が充分に発揮され则认为、課題として設定する。

### ●即興演奏<6級・5級・4級・3級>

メロディに基づき、まとまりのある音楽を即興的に演奏する能力を問う。

### <6級>

コードネームを正しく認識し、演奏する能力を問う。

メロディとコードネームから適切な伴奏を導き出す能力を問う。

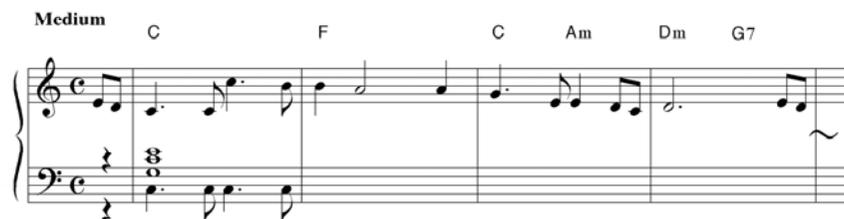
パターンから適切な伴奏形を導き出す能力を問う。

### (例)

指定された楽曲を、リズムパターンに基づき、1コーラス演奏しなさい。

Medium

C F C Am Dm G7



### <5級>

聴取により、音楽の全体像を即座に捉える能力を問う。

コードネームを正しく認識し、演奏する能力を問う。

スタイルの特徴を正しく理解し、演奏する能力を問う。

### (例)

データによる模擬演奏を聴いた後、メロディとコードネームに基づき、リズムデータに合わせて2コーラス演奏しなさい。

8Beat (♩=100)

D Bm7 Em7 A7

F#m7 Bm7 Em7 F#7

Bm Bmmaj7 Bm7 E7

Em7 A7 F#m7 Bm7 Em7 A7 D



### < 4 級 >

聴取により、音楽の全体像を即座に捉える能力を問う。

コードネームを正しく認識し、演奏する能力を問う。

幅広いスタイルの特徴を正しく理解し、演奏する能力を問う。

メロディ・フェイクやカウンター・メロディなどを加えながら、まとまりのある演奏をする能力を問う。

#### (例)

データによる模擬演奏を聴いた後、次のメロディとコードネームに基づき、リズムデータに合わせて2コーラス演奏しなさい。

Swing ♩ =  $\frac{3}{4}$  (♩ = 104)

B $\flat$ -maj7 Am7-5 D7 Gm C7

Cm7 F7 Dm G7 Cm7 F7

B $\flat$ -maj7 Fm7 B $\flat$ 7 E $\flat$ -maj7 E $\dim$ 7

B $\flat$ /F D $\flat$ 7 Cm7 F7 B $\flat$ -maj7

#### 【実施方法】 < 5 級・4 級共通 >

1. メロディ、コードネームが提示される。
2. データによる模擬演奏を聴く。
3. 2小節のカウントを聴く。
4. 2コーラスを即興で演奏する。

### < 3 級 >

メロディから適切な和音を導き出す能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

幅広いスタイルの特徴を正しく認識し、演奏する能力を問う。

曲想を捉え、まとまりのある演奏にする能力を問う。

#### (例)

次のメロディに基づき、2コーラス演奏しなさい。

8 beat

G A B G F# E D C

### ●オリジナルプログラム < 2 級 >

演奏する力に加え、自らによるプログラムの構成により、演奏家としてどのように表現できるかを問う。  
また、和声感、ビート感などを問う。

# カワイ ドリマトーン グレードテスト 課題の捉え方・課題例

併せて、『カワイグレードテスト受験のために[課題例集]ポピュラーピアノ・ドリマトーン篇』(カワイ出版)をご参照ください。

## 【指導グレード】

### ●筆記<6級>

音楽の指導者として必要と思われる知識を問う。

### ●和声<6級・5級・4級>

4声体和声における各声部の動きを理解する能力、ポリフォニックな音楽の流れを捉える能力を問う。

※課題例は「カワイピアノグレードテスト 課題の捉え方・課題例」(P.22)を参照のこと。

### ●聴音<6級・5級>

音楽の指導者として必要と思われる音楽の聴取能力、自然なコードプログレッションにおけるラインの聴取能力、また楽譜を正確に記述する能力を問う。

### <6級>

オルガン曲からメロディのみを聴き取る能力を問う。

#### (例)

オルガン曲から、メロディのみを聴き取って五線譜に書きなさい。

### <5級>

オルガン曲からメロディとベースを聴き取る能力、またコードネームを捉える能力を問う。

#### (例)

オルガン曲から、メロディ、ベース、コードネームを聴き取って3段譜に書きなさい。

### 【実施方法】<6級・5級共通>

調・拍子・主和音が直前に提示される。

1. 通 奏：1回
2. 前半のみ：3回
3. 通 奏：1回
4. 後半のみ：3回
5. 通 奏：1回

それぞれ15秒間隔。5.の終了後に1分間の回答時間を設ける。

●キーボード・アレンジ<5級・4級>

アレンジをするために必要とされる能力を問う。また和声感や調性感を見きわめられるかを問う。

<5級>

メロディ、コードネームから適切な伴奏を導き出す能力を問う。適切な和音連結を施す能力を問う。  
パターンから適切な伴奏形を導く能力を問う。

(例)

次の楽譜の [ ] を満たして、全体を完成させなさい。

Medium B $\flat$  D7/A Gm Gm/F E $\flat$ maj7 F7/E $\flat$  Dm G7/B

<4級>

メロディから適切な和音を導き出す能力を問う。適切な和音連結を施す能力を問う。  
パターンから適切な伴奏形を導き出す能力を問う。

(例)

次の楽譜の [ ] を満たして、全体を完成させなさい。また、( ) にコードネームを書きなさい。ただし、同じコードを続けて使用しないこと。

Medium C $m$  G/D ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

●編曲<3級>

メロディから適切な和音を導き出す能力を問う。  
適切な和音連結を施す能力を問う。  
形式の特徴を正しく認識し、アレンジをする能力を問う。

(例)

次のメロディをドリマトーン曲として1コーラスアレンジし、3段譜に書きなさい。速度、強弱、アーティキュレーション、コードネームを書くこと。前奏・後奏は自由。ただし、拍子とメロディは変えないこと。

●モチーフ作曲<2級>

モチーフを展開させる能力を問う。形式や様式の特徴を理解し、アレンジをする能力を問う。

(例)

次のモチーフを展開させ、ドリマトーン曲として作曲したものを3段譜に書きなさい。